

郷土関係 逐次刊行物 文獻目録 その122

〔注〕

○岐阜県図書館で受入れ、保管している逐次刊行物のうち、郷土に關係のある主要なものを採録した。

○収録は令和4年4月～4年10月までに、岐阜県図書館で受け入れたもの、および一部遡及分を含む。

○記載の順序は、標題・執筆者・掲載誌（紙）名・巻号（発行年）・掲載頁とした。

○分類はおおむね「岐阜県図書館郷土資料分類表」（日本十進分類表に準拠）による。

総記・宗教

立政寺と淀稲葉家（後編） 中島雄彦
博物館だより（岐阜市歴史博物館）
112（22・09）P 6・7

瑞林寺蔵「仏涅槃図」と加茂郡の遺例
岩屋孝志 美濃加茂市民ミュージアム紀要 21（22・03）P 84・93

龍昌院旧蔵観音菩薩坐像からみる可賀及び高木家の信仰 安藤均 岐阜県博物館調査研究報告 42（22・03）P 1・12

歴史・地理

異形石器（8）挟りが五つのタイプ
岩田勲 どっこいし 123（22・08）P 7・9

本巢市上保 船木山石丁場跡の刻印

その2 沢田伊一郎 城 233（22・05）P 32・50

美濃加茂市北野遺跡の細石核関連資料
—吉田英敏氏収集資料から— 川合剛 美濃加茂市民ミュージアム紀要 21（22・03）P 16・26

加茂・可児の古代寺院跡 —その出現と背景— 渡邊博人 美濃加茂市民ミュージアム紀要 21（22・03）P 28・46

硯からみた尾崎遺跡 磯谷祐子 美濃加茂市民ミュージアム紀要 21（22・03）P 48・59

慶長十六年の徳川家康上洛と船橋架設
入江康太 MASO 123（22・08）P 8・10

水都大垣の象徴・今は幻の水産増殖試験場 長澤均 美濃の文化 152（22・06）P 2・5

大垣藩の家禄奉還 清水進 維新の道 —岐阜— 41（22・07）P 4・11

大垣藩の賞典禄分与 清水進 大垣市文化財保護協会会報 46（22・06）P 17・19

明治維新时期郡上藩の書拔資料 —飛騨取締・凌霜隊士引渡・京都警衛等に関する— 安江範泰 郡上市歴史資料館館報 3（22・03）P 45・60

八幡西中学校保管考古資料について
—八幡町稲成地内の中世の出土物の紹介— 今津和也 郡上市歴史資料館館報 3（22・03）P 43・44

八幡西中学校保管考古資料について2
東乙原遺跡出土の北屋敷式土器
岩田崇 郡上市歴史資料館館報 4（22・06）P 21・26

横野区文書史料の状況調査・応急処置について 大澤洋司 郡上市歴史資料館館報 4（22・06）P 27・44

江馬氏の山城群小考 馬場廣幸 飛騨の中世 13（22・09）P 16・31

飛騨中世史研究私論（十一） 二反田實 飛騨の中世 13（22・09）P 41・63

白川善俊跡小考 金龍静 飛騨の中世 13（22・09）P 2・11

美濃の守護梶原景時 清水進 美濃の文化 153（22・10）P 7・9

出雲の遠藤氏 高橋教雄 郡上市史談 167（22・06）P 2・4

旗本加藤平内と天御堂城 竹谷勝也 文化財おの 89（22・08）P 5・6

津田左右吉の国民思想論と地方伝承 早川万年 美濃加茂市民ミュージアム紀要 21（22・03）P 1・14

小原長者の伝説と六蔵の了宗 広瀬義朗 飛騨の中世 13（22・09）P 37・40

加茂・可児地域にみられる鬼と命名された地名について 水谷敏 岐阜地理 13（22・09）P 22・29

社会科学
古民家再生によるにぎわい創出の取組

- について 土屋雅義 自治研ぎふ
132(22・06)P15・20
- 「まろ・ひと・しごと」 10年以降も住
み続けられる地域に 富樫幸一 自
治研ぎふ 133(22・10)P5・20
- 岐阜県の少子化の現在地 中村純子
レポート(OKR総研) 187(22・10)
P3・8
- 十月二十九日付青木久兵衛宛上松万造
書簡―佐波学校新築費用を巡る意見
対立― 入江康太 濃飛史艸 131
(22・09)P4・5
- 学校保存資料から見る郡上教育の歩み
(3)―戦後教育の推移― 安藤勝昭
郡上市歴史資料館館報 3(22・03)
P21・42
- コロナ禍の休校措置等が高校教育に与
えた影響に関する意識調査より 高
橋利行 地域創生 41(22・03)P
75・85
- 郡上踊保存会の設立 高橋教雄 郡上
史談 168(22・10)P1・6
- 自然科学**
- ふるさとの大気水象と天気を探る 鹿
野勘次 美濃加茂市民ミュージアム
紀要 21(22・03)P72・82
- 岐阜の低山を歩く―岐阜の森林から日
本の植生を考える― 岩田拓朗 生
物教育 66(22・03)P8・15
- 堀田ビオトープの活用と川魚活用文化
桂川法生 農業教育 60(20・03)
- P61・64
- 2021年度空中浮遊生物調査 飯田園
昌 だんだらちよう 114(22・07)
P3・18
- 岐阜県大野郡白川村白山山麓の蛾類
遠藤弘志、笠井初志、宮崎弘規、大
和田守、説田健一 岐阜県博物館調
査研究報告 42(22・03)P1・62
- 工学・産業**
- 近世以降の木曾三川改修と輪中集落の
変容 伊藤寛司 養老町の文化財
156(22・04)P4・6
- 「チャート」が信長の城を石垣に変え
た 岩田勲 どこいし 123(22・
08)P5・6
- 石垣・石積み 桐山喜之 関ヶ原の歴
史 370(22・07)P1・6
- 研究ノート「蜂屋柿に関する覚え書」
井戸幸一 美濃加茂市民ミュージア
ム紀要 21(22・03)P60・70
- 遠山氏と木曾川運材 三宅唯美 KSO
124(22・10)P8・10
- 明治の東海道新幹線計画(四) 大矢
博 養老町の文化財 156(22・04)
P6・8
- 中山道の歴史と観光化 丸山幸太郎
岐阜女子大学 地域文化研究 38
(21・03)P71・92
- 観光地の持続可能性のカギは「フード
バリアフリー」にあり ―高山フー
ドバリアフリー協議会の取組からみ
- えるもの― 森俊介 経済月報 805
(22・09)P6・10
- 芸術・言語・文学**
- 「大垣と美術を語る」長原孝太郎さん
をしつていますか? 古川秀昭 レ
ポート(OKR総研) 186(22・07)P
37・42
- 大垣市全真寺所蔵絵画について 杉崎
貴英、南本有紀 岐阜県博物館調査
研究報告 42(22・03)P63・78
- 荒ぶる奴が叫ぶ歌の断片―郡上市小
川の奴― 久野壽彦 ぎふ民俗音楽
133(22・08)P1
- 詩 断想 2020(夏) ひらみつきよく
どう 文芸長良 42(21・04)P47・
54
- プロムナード・エッセイ「流れる」
流れるツグミ ひらみつきよくどう
文芸長良 42(21・04)P84・85

郷土関係 逐次刊行物 文献目録 その123

《注》

○岐阜県図書館で受入れ、保管している逐次刊行物のうち、郷土に関するもの主要なものを採録した。

○収録は令和5年1月～5年10月までに、岐阜県図書館で受け入れたもの、および一部遡及分を含む。

○記載の順序は、標題・執筆者・掲載誌（紙）名・巻号（発行年）・掲載頁とした。

○分類はおおむね「岐阜県図書館郷土資料分類表」（日本十進分類表に準拠）による。

総記・宗教

特集 飛騨の研究団体など一覽 飛騨額の会事務局 斐太紀 32(23・10) P 202・296

輪之内の神社・日本の神社についての一考察 吉川道教 輪之内学研究 12(23・04) P 84・91

洲原神社の往古を幻視する — 『御鎮座千三百年記念洲原神社』を読んで 清水昭男 濃飛の文化財 62(23・02) P 16・20

立政寺の什宝について三題 — 「立政寺文書・立政寺田畠目録」・「双竜図」 — 中島雄彦 岐阜市歴史博物館研究紀要 26(23・03) P 72・37

『美濃西国巡礼手引記』による旧札所の紹介(一) 船戸忠彦 濃飛の文化財 62(23・02) P 45・48

長福寺と奉加帳について 藤澤良祐 多治見市文化財保護センター研究紀要 16(23・02) P 35・54

美濃市の廬山麓苑寺について 五十川金寿 濃飛の文化財 62(23・02) P 24・27

真宗大谷派岐阜高山教区のうち岐阜9組に伝統の年中行事と消息 田中恵順 輪之内学研究 12(23・04) P 92・98

歴史・地理

異形石器(10)「挟りが二つ」の全国版 岩田勲 どころいし 126(23・

- 08) P 7・10
為岡遺跡の方形周溝墓再考 渡邊博人
美濃加茂市民ミュージアム紀要
22(23・03) P 1・28
美濃国刻印須恵器の新例 渡邊博人
岐阜市歴史博物館研究紀要
26(23・03) P 1・20
下呂石の分布(二)―地区別 石鑑に
使用された石材について― 岩田修
濃飛の文化財 62(23・02) P 7・10
徳川家康と禁制 清水進 維新の道
―岐阜― 42(23・07) P 4・10
垂井城主平塚因幡守為広公 水野隆生
関ヶ原の歴史 384(23・09) P 1・5
関ヶ原合戦の焼き戦、刈り戦 清水進
美濃の文化 155(23・06) P 2・6
徳川家康ゆかりの地 関ヶ原・桃配山・
陣場野 三輪成康 関ヶ原の歴史
385(23・10) P 1・6
徳川家康と柿寺 清水進 大垣市文化財
保護協会会報 47(23・06) P 15・19
「関ヶ原合戦図」に、関ヶ原の戦いを
読む ―「関ヶ原合戦図志」著者
神谷道一氏の所蔵資料から― 草
野道雄 古地図文化きふ 23(23・
05) P 2・11
西美濃四人衆 大垣城主氏家ト全(二)
児玉剛 美濃の文化 155(23・06)
P 7・9
林原美術館所蔵「石谷家文書の調査・
研究について ―石谷親子宛近衛前
久書状の若干の考察を添えて― 内
池英樹 織豊期研究 24(22・10)
P 55・68
美濃国守護土岐氏最後の居館 大桑城
の終焉 西村寛良 濃飛の文化財
62(23・02) P 39・44
鶴ヶ峰岩はどこか 廣瀬良倫 濃飛の
文化財 62(23・02) P 49・50
金森長近の関ヶ原戦後の知行地「上有
知」についての考察 長瀬公昭 斐
太紀 32(23・10) P 19・28
慶応元年(一八六五)のソウ・トラの
見世物興行 中尾喜代美 濃飛史師
134(23・09) P 7・10
加納かいわいの古代・中世(二) 内
堀信雄 中山道加納宿 81(23・04)
P 2・6
地図で見る岐阜市南部の遍歴 松尾一
東海地理 60(23・03) P 37・40
永仁四年十二月十八日付「関東下知状」
の典故について考える 宮野宣康
垂井の文化財 47(23・03) P 18・27
淨林寺開基仏の方便法身尊像 ―実如
裏書の阿弥陀絵像を調査して―
邦崎雅史 垂井の文化財 47(23・
03) P 28・37
栗原山義人碑建設の経緯 水野隆生
垂井の文化財 47(23・03) P 49・56
郷土の歴史あれこれ「山中」という
ところ その一 高木優菜 濃飛の
文化財 62(23・02) P 37・38
土族の秩禄処分 清水進 濃飛の文化
財 62(23・02) P 53・58
大垣藩の蔵元 横幕孜 濃飛の文化財
62(23・02) P 51・52
安養寺文書からみる郡上の中世 高橋教
雄 郡上史談 171(23・10) P 4・10
高鷲郷から高鷲村への拓く力 馬淵夏
修 岐阜地理 66(23・03) P 9・16
下米田小学校「郷土読本取扱」につい
て―戦前期加茂郡の郷土資料一斑―
早川万年 美濃加茂市民ミュージア
ム紀要 22(23・03) P 29・37
御嵩の古代からの文化の展開 鈴木富
雄 濃飛の文化財 62(23・02) P
11・15
小地名から見た瀬織氏の中世城館跡
について 水谷敬 岐阜地理 66
(23・03) P 1・8
長福寺文書「美濃国池田御厨某寺奉加
帳」について ―中世前期の在地社
会における勧進と奉加― 福島金治
多治見市文化財保護センター研究紀
要 16(23・02) P 20・33
東池田の歴史と仏教文化について(二)
小木曾郁夫 濃飛の文化財 62
(23・02) P 21・23
古川町における平成の合併 白川修平
斐太紀 32(23・10) P 5・18
昭和の大作曲家 江口夜詩 白石博男
郡上史談 171(23・10) P 1・4
加納藩の先人たち(4) 平生飢三郎
の生涯と生き方 丸山幸太郎 中
山道加納宿 80(22・10) P 6・8
林證吾翁 再びの顕彰 高橋克郎 い
びがわ文化財 51(23・04) P 1・3
民間考古学・民俗学者 林魁一に關す
る文献目録の公開及び補論3題
井戸幸一・松井朗 美濃加茂市民
ミュージアム紀要 22(23・03) P
39・64
「利治」書状にみる斎藤新五利治の
人物像 山内正明 美濃加茂市民
ミュージアム紀要 22(23・03) P
1・5
廣瀬旭荘の飛騨紀行(続) 高山での
四十四日 旭荘が残したものは? 峠
順治 斐太紀 32(23・10) P 118・133
飛騨真宗開祖嘉念房善俊(第三編)
―飛騨御坊照蓮寺縁起伝 上巻―
代情孝郎 濃飛の文化財 62(23・
02) P 28・32
各務原市ゆかりの人物を探る(二)
大堀等 濃飛の文化財 62(23・
02) P 94・98
飛騨地域の山林における小地名につ
いて(五) 佐野公樹 斐太紀 32
(23・10) P 134・147
社会科学
関発主義から文化的景観の都市へ―金沢
市と岐阜市を比較して― 富樫幸一
自治研きふ 135(23・06) P 3・17
岐阜県の少子化の現在地Ⅱ ―合計特
殊出生率分析から見る地域特性―
中村紘子 レポート(OKB総研)
188(23・01) P 3・8

- 国内での設備投資状況に関する特別調査 藤木由江 経済月報 814 (23・06) P 14・19
- 第202回東海地区企業動向調査 藤木由江 経済月報 816 (23・08) P 12・18
- ベンチャー企業による初期プラスチック事業の展開と企業者活動 ―後藤甲子男と三井株式会社を事例として― 中垣勝臣・土井義夫・櫻木晋一 朝日大学経営論集 37 (23・03) P 79・94
- 2023年度「新人社員の意識」調査 萩原綾子 経済月報 815 (23・07) P 14・19
- 多様な働き方の導入状況に関する特別調査 藤木由江 経済月報 817 (23・09) P 14・20
- データでみる空き家の状況 中村絃子 レポート (OBS総研) 189 (23・04) P 3・8
- 伊勢湾台風 知られざる土砂災害 宮川充史 KSSO 125 (23・01) P 8・10
- 旧厚見郡下佐波の雨乞い松明 (上) 青木久太郎家文書の雨乞い史料から ― 岡田吉孝 濃飛の文化財 62 (23・02) P 77・81
- 4年ぶりに「美濃にわか」の笑い 神田卓朗 篝火 164 (23・12) P 14・15
- 享保三年『高山八幡祭礼行列』について ― 三百五十年前の史料を基にして ― 川上富子 斐太紀 32 (23・10) P 41・51
- 長滝白山神社の祭礼を考える 曾我孝司 郡上史談 170 (23・06) P 1・4
- 中町「祭礼諸色仕上帳」の内容とその意義 酒井朝三 垂井の文化財 47 (23・03) P 57・69
- 旧不破郡東部(相川水系)の太鼓踊り (一) 太鼓踊りの用具の特徴とその背景 岡田吉孝 濃飛史艸 133 (23・04) P 7・10
- 『表佐の太鼓踊り』から見えてくる世界 (二) 一之瀬村とその周辺の鉱山 梅村和子 濃飛史艸 134 (23・09) P 2・6
- 無形民俗文化財の獅子舞雑考 その (一) 兀下義博 斐太紀 32 (23・10) P 177・200
- 郡上踊保存会設立と四百年問題について 高橋教雄 濃飛の文化財 62 (23・02) P 59・63
- 岐阜県揖斐郡徳山村の伝承話 (二) 昔話「瓜姫とあまんじやく」について 野部博子 美濃の文化 154 (23・02) P 2・4
- 阿波丸事件と大東亜戦争 濃飛報局書記 田中國夫の記録 田中國昭 輪之内学研究 12 (23・04) P 9・26
- 明治以降の戦争と戦没者・遺族会 神戸孝司 田中一宏 輪之内学研究 12 (23・04) P 45・54
- 自然科学 西美濃の算額 小野俊彦 輪之内学研究 91・94
- 究 12 (23・04) P 2・8
- ふるさとの大気光象と天気を探る 鹿野勘次 美濃加茂市民ミュージアム紀要 22 (23・03) P 65・74
- 資料紹介 明治昭和初期の気象観測記録「晴雨表」 社本沙也加 岐阜市歴史博物館研究紀要 26 (23・03) P 36・22
- 飛騨地方の気象 (12) 「高山市街地の気温が日本一低かった時刻」 岩田敷 斐太紀 32 (23・10) P 78・82
- 瑞浪層群明世層産 Kotorapecten egregius (Ilogawa 1955) (ニホナミホタテ) に関わられた八咫目による穿孔捕食痕の発見 安藤佑介 瑞浪市化石博物館研究報告 49 (23・03) P 51・58
- 瑞浪層群明世層産貝類におけるストロンチウム同位体年代の追加記録 安藤佑介 荒岡大輔 吉村寿紘 中島礼 瑞浪市化石博物館研究報告 49 (23・03) P 119・122
- 瑞浪層群明世層産類 (ニホナミホタテ) の復元模型製作 安藤佑介 徳川広和 甲能直樹 瑞浪市化石博物館研究報告 49 (23・03) P 167・173
- 2019-2022年の加茂地区生物多様性調査報告 向井貴彦・荒井浩・高井泰・安藤志郎 美濃加茂市民ミュージアム紀要 22 (23・03) P 91・94
- 村山川におけるタナゴ類と淡水二枚貝の生育状況及び環境について 村井真 農業教育 61 (23・03) P 57・60
- 新規帰化植物 *Lindernia nummularifolia* (エナウリクサ) 高木正夫 岐阜県植物研究会誌 37 (22・12) P 1・4
- 岐阜県産タヌキ類・ツノゴケ類チェックリスト (2023年版) 天本匡寛 池松泰一 岐阜県植物研究会誌 37 (22・12) P 5・13
- 周伊勢湾地域における森林群集の成立過程を探索 ― 湿地性樹木4種 (シデコブシ、ハナノキ、サクラバハナムキ) およびミヤマウメモドキ) の種間関係を通じて 広木詔三 後藤裕治 岐阜県植物研究会誌 37 (22・12) P 25・34
- 私説 飛騨の植物誌 その7 小野木三郎 斐太紀 32 (23・10) P 83・87
- 岐阜のギョフチョウ 水谷治雄 だんだらちよう 115 (23・02) P 10・13
- 輪の内における昔の地域医療事情 (2) 福東地区のようす 田中耕 輪之内学研究 12 (23・04) P 62・70
- 工学・産業 地域資源としての瑞穂市内のマンボ 畦地真太郎 朝日大学経営論集 37 (23・03) P 67・77
- 高須輪中の排水史 第一編 高須輪中の排水処理の経緯 KSSO 127

- (23・07) P 5・7
 福東輪中にかかわる「明治治水」(明治治水と「デ・レーケ」片野萬石衛門) 神戸孝司 輪之内学研究 12 (23・04) P 27・44
- 石垣の帯磁率調査から見た飛騨・松倉城 岩田修 斐太紀 32 (23・10) P 162・176
- 馬瀬村電力利用史 中川鏑一 斐太紀 32 (23・10) P 57・73
- 多治見市の陶磁器産業の動向と産地形成についての一考察 原賢仁 東海地理 60 (23・03) P 47・50
- 新ニーズを創出するための太白焼の考察(第2報) 小稲彩人 岐阜県セラミックス研究所研究報告 2022 (22・11) P 15・17
- 満州の開拓団は人権地によって大きな差が出たか? (一) 馬淵夏修 濃飛の文化財 62 (23・02) P 69・72
- 岐阜地鶏の長期飼育における調査について 立川昌子、田中純二、清水雅範 岐阜県畜産研究所研究報告 22 (23・03) P 30・36
- 休山以前の御用木元伐請負人(八)——幕領飛騨林業史の再検討—— 福井重治 斐太紀 32 (23・10) P 33・40
- 消えゆく飛騨の峠道を歩く その六 木下喜代男 斐太紀 32 (23・10) P 99・117
- 苗木藩 木曾川渡船の難渡 千早保之 KSSO 127 (23・07) P 8・10
- 飛騨の乗り物黎明期史料集 その3 金子曉男 斐太紀 32 (23・10) P 148・161
- 中山道十七宿と美濃の神々(二十九) 今津隆弘 中山道加納宿 81 (23・04) P 6・10
- 岐阜県羽島市内を通った京鎌倉往還(鎌倉街道)を検証する 平井正春 岐阜地理 66 (23・03) P 17・25
- 岐阜県のインバウンド回復に向けて——新型コロナからの「観光再始動」—— 中村紘子 レポート(OKB総研) 190 (23・07) P 3・8
- 芸術・言語・文学
 市史跡源朝長の墓と活用の一事例 長澤均 濃飛の文化財 62 (23・02) P 32・36
- 垂井の文化財とハザードマップ 小玉義弘 垂井の文化財 47 (23・03) P 70・77
- 円空の彫刻芸術5——関東の不動明王坐像 野村幸弘 岐阜大学教育学部研究報告人文科学 70の1 (22・10) P 95・104
- 守屋多々志をしていますか? 青山訓子 レポート(OKB総研) 189 (23・04) P 39・42
- 加藤正嘉をしていますか? 廣江泰孝 レポート(OKB総研) 190 (23・07) P 39・42
- 岐阜県芸術能における「蛇」と「竜」寸見(一) 久野壽彦 ぎふ民俗音楽 136 (23・08) P 1
- 東海地方の若者方言Ⅰ・Ⅱ 山田敏弘 岐阜大学教育学部研究報告人文科学 70の2 (23・03) P 1・20
- 飛騨の児童文学(三)——「円空さん」(赤座憲久・作)への一視点—— 黒柳大造 斐太紀 32 (23・10) P 88・98
- 資料紹介「渡辺和郎文芸関係資料」 桜田幸代 美濃加茂市民ミュージアム紀要 22 (23・03) P 75・80

郷土関係 逐次刊行物 文献目録

その
124

〔注〕

○岐阜県図書館で受入れ、保管している逐次刊行物のうち、郷土に関するもの主要なものを採録した。

○収録は令和5年11月～6年5月までに、岐阜県図書館で受け入れたもの、および一部遡及分を含む。

○記載の順序は、標題・執筆者・掲載誌（紙）名・巻号（発行年）・掲載頁とした。

○分類はおおむね「岐阜県図書館郷土資料分類表」（日本十進分類表に準拠）による。

総記・宗教

中世後期における白山寺社勢力の権益
中川聡一郎 飛騨の中世 14（23・11）P 2-21

岐阜県における古代・中世寺院の立地と変遷 小野木孝 岐阜県文化財保護センター研究紀要 8（24・02）P 1-24

大名による寺院の移転とその意義について 櫛田尚人 岐阜県文化財保護センター研究紀要 8（24・02）P 25-40

林陽寺の本寺である加納藩時代の全入院 岩水龍峰 濃飛の文化財 63（24・02）P 34-36

『美濃西国巡礼手引記』による旧札所の紹介（二） 船戸忠幸 濃飛の文化財 63（24・02）P 54-57

麦島集落（高山市清見町檜谷）の道場に存在した「白川門徒」の記載のある絵像本尊の調査 広瀬義朗 飛騨の中世 14（23・11）P 70-71

歴史・地理

異形石器（11） 総資料による統計解析のまとめ 岩田勲 ひとつこいし 127（24・01）P 7-10

下呂石の分布（三）——縄文・弥生時代 小形利片石器の石材選択—— 岩田修 濃飛の文化財 63（24・02）P 82-85

土岐市の城ヶ根砦について 石川浩治 城 235（24・04）P 20-24

家康不在の美濃の戦い（米野・岐阜・合渡の戦い） 三輪成康 関ヶ原の歴史 387（23・12）P 1-6

徳川家康の大垣城水攻め 清水進 濃飛の文化財 63（24・02）P 24-27

小氷期における江戸時代の大飢饉 岩田勲 斐太紀 33（23・11）P 196-199

- 美濃 徳川領国への道 ― 譜代大名・旗本・豊臣家臣 ― 入江康太 濃飛史 135 (24・01) P 3・6
- 企画展「加納藩」をふりかえって (一) 佐藤友理 中山道加納宿 83 (24・04) P 2・5
- 研究ノート 岐阜市南部の古墳について 井川祥子 博物館たより (岐阜市歴史博物館) 115 (23・10) P 6・7
- 垂井の長屋氏屋敷跡 水野隆生 関ヶ原の歴史 391 (24・04) P 1・6
- 朝鮮通信使と美濃路大垣宿 子安孝夫 美濃の文化 156 (23・10) P 3・5
- 官軍や軍人になった大垣の士族 清水進 美濃の文化 156 (23・10) P 6・8
- 揖斐城跡について ― 大手門跡から「桂の郷」へのルートは 小谷和彦 いびがわ文化財 52 (24・04) P 5・8
- 大藪町日曜写真館の記録から見た戦前の社会 田中昭 輪之内学研究 13 (24・04) P 14・27
- 横野区文書史料の状況調査・応急処置について 2 大澤洋司 郡上市歴史資料館館報 5 (23・08) P 33・57
- 郡上市内における縄文時代遺跡の立地と分布状況について 岩田崇 郡上市歴史資料館館報 5 (23・08) P 23・32
- 郡上藩青山家と家臣のアーカイブス・坂東家文庫を含む資料群調査報告 (その一) ― その概要と伝来について ― 安藤勝昭 安江範泰 郡上市歴史資料館館報 5 (23・08) P 59・86
- 郡上藩玉置騒動 講釈師馬場文耕の獄門 白石博男 濃飛の文化財 63 (24・02) P 37・40
- 青龍山長福寺と奉加帳について 小本曾郁夫 濃飛の文化財 63 (24・02) P 11・14
- 第十二章 飛騨中世史研究私論 いわゆる「明応七年 (一四七九)」の検証 二反田實 飛騨の中世 14 (23・11) P 72・104
- 大原騒動はどのように伝えられて来たか 林格男 斐太紀 33 (23・11) P 7・27
- 高原郷と安永騒動 佐野浩一 斐太紀 33 (23・11) P 28・43
- 飛騨大原騒動における郡上藩の鉄砲使用 高橋教雄 斐太紀 33 (23・11) P 44・55
- 新説大原騒動 第二章 「戦争」としての一之宮騒動 尾崎啓介 斐太紀 33 (23・11) P 57・84
- 幕府勘定所の官儀層からみた大原騒動 小椋喜一郎 斐太紀 33 (23・11) P 85・109
- 大原騒動と松平定信 且下部正良 斐太紀 33 (23・11) P 110・118
- 天明騒動の会計簿 福井重治 斐太紀 33 (23・11) P 119・135
- 明和の法論と安永の騒動 白川修平 斐太紀 33 (23・11) P 136・142
- 昭和四十年代から平成年代にかけて大混乱した大原騒動の記述 林格男 斐太紀 33 (23・11) P 144・153
- 『史料紹介』(安永二年) 十二月二十九日「大原彦四郎書状案」(断簡) 堀祥岳 斐太紀 33 (23・11) P 154・155
- もう一つの大原騒動 ― 小池文書からの解説 加賀屋九八郎文書を中心として ― 長瀬公昭 斐太紀 33 (23・11) P 156・174
- 『史料紹介』新出本『飛騨夏虫記』『夢物語』の書誌と諸伝本の一考察 竹田雅文 斐太紀 33 (23・11) P 175・181
- 『夢物語』より考察される大原騒動 (明和騒動) ― 百姓たちが蜂起した原因とは ― 高野聡 斐太紀 33 (23・11) P 182・194
- 外国人研究者が見た大原騒動 ― 「江戸時代の百姓一揆とアイヌの騒動を比較する」(ハインツ・H・アルバ―著) に着目して ― 黒柳大造 斐太紀 33 (23・11) P 200・208
- 「大原騒動 一宮大集会之地」 昭和六十二年十一月吉日建立 藤枝和泉 斐太紀 33 (23・11) P 215・218
- 安永騒動から二百五十年追憶記 (今も哀憐の風が吹く高山市一之宮町) 代情吟郎 斐太紀 33 (23・11) P 219・236
- 大原騒動研究並びに義民供養史 尾崎啓介 斐太紀 33 (23・11) P 237・246
- 大野政雄先生と大原騒動研究 尾崎啓介 斐太紀 33 (23・11) P 247・254
- 甚兵衛と勘左衛門の足跡を新島の史跡に見る 田中彰 斐太紀 33 (23・11) P 255・264
- 上木屋甚兵衛家の歴史と同じく飛騨を先導した周りの家々 住斉 斐太紀 33 (23・11) P 265・284
- 三枝郷と大原騒動 ― 立ち位置は終始「起者(たちもの)」 峠順治 斐太紀 33 (23・11) P 314・326
- 小中学校における大原騒動 岩田修 斐太紀 33 (23・11) P 327・332
- 飛騨における米の生産 I 古川町における中世までの新田開発と支配 白川修平 斐太紀 34 (24・04) P 51・63
- 幕藩体制下の宗門統制「血誓」 田中教恵 斐太紀 34 (24・04) P 95・101
- 『鷲見氏・鷲見郷一覽』について 高鷲文化財保護協会 郡上市史談 172 (24・02) P 1・8
- 『岐阜県史料編古代中世』所収「竹中重治書状」について (翻刻と年次比定を通じての再検討) 宮野宣康 濃飛史 136 (24・04) P 4・12
- 郷土の傑物 関ヶ原与市の最後について 田邊信行 関ヶ原の歴史 386 (23・11) P 1・4
- 豊臣政権における稲葉氏の動向 稲

- 葉重通を中心に 安藤均 岐阜県博物館調査研究報告 43 (23・03) P 1・14
- 檀合寺善宗と田実は親子関係で道場の法脈上の継承者の関係であったか 坂部和夫 斐太紀 34 (24・04) P 47・50
- 山中常盤物語考 飯沼暢康 濃飛の文化財 63 (24・02) P 7・14
- 飛騨真宗開祖嘉念房善俊 (第四編) 飛騨御坊照蓮寺縁起伝 下之巻 一代情吟郎 濃飛の文化財 63 (24・02) P 19・23
- 揖斐 (春日地区) に遺る播磨上人ゆかりの地を訪ねて 小谷和彦 濃飛の文化財 63 (24・02) P 41・45
- 梁川星巖とその顕彰活動の進展 長澤均 濃飛の文化財 63 (24・02) P 46・49
- 岐阜県の文化財保護 馬淵夏修 輪之内学研究 13 (24・04) P 2・13
- 飛騨地域の山林における小地名について (六) 佐野公樹 斐太紀 34 (24・04) P 123・136
- 長良川・揖斐川の流域治水の歴史を古地図から読み解く 古田昇 古地図文化きふ 24 (24・05) P 2・9
- 木曾川と川島く大河の流れと共に生きて 鷺見隆司 KSSO 129 (24・01) P 8・10
- 文人墨客の飛騨遊歴 峠順治 斐太紀 34 (24・04) P 113・122
- 社会科学
- 高山のまちづくり 「まちかど整備」の紹介 小瀬信行 斐太紀 34 (24・04) P 5・24
- 地方都市における「ウォークアブルなまちなか」の可能性 岐阜市の事例から考える 中村紘子 レポート (OKB 総研) 193 (24・04) P 3・10
- 事業継承に関する特別調査 藤木由江 経済月報 821 (24・01) P 14・20
- 第205回東海地区企業動向調査 藤木由江 経済月報 823 (24・03) P 14・20
- 賃上げおよび賞与支給状況に関する特別調査 藤木由江 経済月報 824 (24・04) P 14・20
- ふるさと納税の15年 全国と東海三県の現状を俯瞰する 中村紘子 レポート (OKB 総研) 191 (23・10) P 3・14
- 消費動向に関するアンケート調査 (2023年8月期) 萩原綾子 経済月報 818 (23・10) P 14・19
- 社会保障としての公営住宅の現状と課題 岐阜県内自治体アンケート調査より 高木博司 地域創生 42 (23・03) P 25・31
- 多様な働き方に関する実態調査研究 西濃圏域のテレワークの現状 竹内治彦、河合晋、山本重人 地域創生 42 (23・03) P 1・12
- 岐阜県内におけるソーシャルワーク実習施設に関する調査研究 後藤康文、山田武司、高木博史 地域創生 42 (23・03) P 13・24
- 輪之内町のシルバー人材センター 輪之内学の領域 (14) 田中俊弘 輪之内学研究 13 (24・04) P 40・47
- 昭和三十五年十一号・十二号台風災害と復旧対応を振り返る 岐阜県郡上郡八幡町での事例を中心に 安江範泰 KSSO 130 (24・03) P 8・10
- 旧厚見郡下佐波の雨乞い松明 (下) 青木久太郎家文書の雨乞い史料から 岡田吉孝 濃飛の文化財 63 (24・02) P 58・61
- 山王祭鳳凰台組と八幡祭鳩峯車組 川上富子 斐太紀 34 (24・04) P 39・44
- 無形民俗文化財の獅子舞雑考 その (三) 兀下義博 斐太紀 34 (24・04) P 167・199
- ユネスコ無形文化遺産 郡上寒水の掛踊 高橋教雄 濃飛の文化財 63 (24・02) P 28・33
- 自然科学
- 飛騨地方の気象 (14) 「生物季節観測と地球温暖化」 岩田勲 斐太紀 34 (24・04) P 245・250
- 飛騨地方の気象 (13) 「短時間に降る豪雨と強雨」 岩田勲 斐太紀 34 (24・04) P 73・76
- パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本の研究 (概要) 安藤佐介 瑞浪市化石博物館研究報告 50・3 (24・03) P 1・16
- 手取層群とオルソコーツァイト 直井幹夫 斐太紀 34 (24・04) P 92・94
- 飛騨における江戸末期から現在までのイノシシの分布と変動 中田裕一 斐太紀 34 (24・04) P 204・284
- 私説 飛騨の植物誌 その8 小野木三郎 斐太紀 34 (24・04) P 85・91
- 日本列島を横断する2つのギフチョウ 属のチョウの拡大過程 土田浩治ほか だんだらちよう 116 (23・12) P 14・39
- 飛騨地方の水路における魚類相 岸大弼、徳原哲也 岐阜県水産研究所研究報告 69 (24・03) P 9・18
- 飛騨の野鳥歳時記 六十五年間の観察から 直井清正 斐太紀 34 (24・04) P 285・344
- 輪の内における昔の地域医療事情 (3) 大藪地区の様子 田中耕 輪之内学研究 13 (24・04) P 48・59
- 工学・産業
- 明治二九年の大水害 坂東肇 美濃の文化 157 (24・02) P 2・4
- 牧田川喰違堤の歴史的役割とその意義 伊藤憲司 養老町の文化財 159 (23・10) P 4・6
- 高須輪中の排水史 第二編 高須輪中からの悪水排水路の請願 KSSO

- 128(23・10) P 5・7
 本曾三川のケレップ水制 第一編
 明治改修におけるケレップ水制
 KISSO 129(24・01) P 5・7
 近年の牧田川沿川の水災害対策
 KISSO 130(24・03) P 3・4
 本曾三川のケレップ水制 第二編
 ケレップ水制の機能と役割 KISSO
 130(24・03) P 5・7
 高山別院照蓮寺の石垣(1)―金森時代の
 の石垣はあったのか― 岩田修 斐
 太紀 34(24・04) P 200・209
 関ヶ原の城「松尾山城・玉城」富
 田真一郎 関ヶ原の歴史 390(24・
 03) P 1・4
 奥飛騨地方における堀切 馬場廣幸
 飛騨の中世 14(23・11) P 52・69
 美濃格の安定生産と品質評価に関する
 研究(第1報) 浅野良直・佐藤幸泰
 立川英治 岐阜県産業技術総合セン
 ター研究報告 4(23・10) P 45・48
 満州の開拓団は入植地によって大きな
 差が出たか? (二) 馬淵曼修 濃
 飛の文化財 63(24・02) P 62・68
 休山以前の御用木元伐請負人(九)
 ―幕領飛騨林業史の再検討― 福井
 重治 斐太紀 34(24・04) P 64・72
 東海道新幹線の建設と岐阜羽島駅開業
 を検証する 平井正春 岐阜地理
 67(24・03) P 19・28
 美濃焼の生産・輸送と本曾川 KISSO
 129(24・01) P 3・4
 東海環状自動車道と西濃地域 ―近つ
 く西回り区間全線開通― 中村紘子
 レポート(OKB総研) 192(24・01)
 P 3・8
 飛騨の乗り物黎明史料集 その4
 金子暁男 斐太紀 34(24・04) P
 152・166
 芸術・言語・文学
 絵本作家・わかやまけんの岐阜時代か
 ら紙芝居制作、図書館活動と教育に
 ついて 鳥羽都子 岐阜県美術館年
 報・研究紀要 7(24・03) P 108・117
 ふるさとの山と校歌(伊吹山・養老山)
 神戸孝司 輪之内学研究 13(24・
 04) P 28・39
 岐阜県の雅楽について1 ―1300
 年前に演奏された雅楽―長瀬公昭
 斐太紀 34(24・04) P 25・38
 乗鞍岳小史3 乗鞍岳飛騨側にあつた
 山小屋のこと 木下喜代男 斐太紀
 34(24・04) P 137・151
 岐阜県方言資料に見られる指定辞 山
 田敏弘 岐阜大学教育学部研究報告
 人文科学 72・1(23・10) P 11・20
 農具「タチカキ」類の名称と形状 山
 田敏弘 岐阜大学教育学部研究報告
 人文科学 72・2(24・03) P 1・10
 飛騨の現代文学(三)―志田石高の「山
 家慕情」とその時代― 黒柳大造
 斐太紀 34(24・04) P 102・112